

土の中のアイドル



ササラダニ(左)とトビムシ(右)
光学顕微鏡写真

文と写真●藤井 佐織 Fujii Saori

森林昆虫研究領域

森に一歩足を踏み入れると、足元には落ち葉がふかふかと積もっています。その落ち葉の下には、たくさんの種類の、驚くほど数多くのムシたちが生息しています。

代表的なものに、すぐに目につくクモやムカデなどがありますが、それら大型土壌動物の数は全体の0.1%にもなりません。土から10センチメートルの距離まで顔を近づけてみると、そこには小さなムシたちの知られざる世界が広がっています。多くは、体長0.1〜2ミリメートルほどで、おもにトビムシやダニに分類されるムシたちです。温帯の森林では、大人の片足の下にトビムシでおよそ500個体、ダニで2000個体もいます。

土のダニの多くはササラダニという、おもに落ち葉を食べる種類で、落ち葉に似た茶色い体色をしていて、足が短く、ヨチヨチとかわいらしい動きをします。トビムシも足の短いものが多く、お尻に跳躍器がついていて、それをバネにウサギのように跳ぶことができます。トビムシは青、紫、赤、黄、白、銀色ととても色とりどりで、つぶらな眼をもつ種も多く、土壌動物学者の間では土の中のアイドルと評されています。

生物の姿かたちは、生き様を表しているのでしょうか。大きい顎や長い足は、その生物が強い攻撃性や競争力をもっていることの表れでしょう。トビムシやササラダニは、クモなどの動物に食べられる側の生物で、彼らの食べものは土の中に余りある落ち葉や微生物です。捕食や競争のために強くなる必要がないので、あたかも、ゆるキャラのように見えるかもしれません。みなさんも、つぎに森へ入るときには、ぜひ、落ち葉の下の世界をのぞいてみてください。♥



マルトビムシ科の一種



イボトビムシ科の一種